

東吾妻町 橋梁長寿命化修繕計画 【概要版】

(令和5年3月更新)

東吾妻町 建設課

■背景

東吾妻町は、令和2年3月現在で265橋の道路橋を管理しています。

この橋の1割近くが「架設後50年以上が経過する高齢化」を迎えており、**20年後には1は8割近くの橋梁が高齢化を迎えます**。また、橋のおかれる環境も交通量の増加や車両の大型・重量化により日々厳しい状況となっています。

そこで、橋の長寿命化修繕計画では、従来の「**悪くなってから補修する管理（事後保全的管理）**」から、「**損傷が小さなうちに計画的に補修を行い、橋の長寿命化を図る管理（予防保全的管理）**」へ移行し、町民の皆様が生活する上で、大切な道路交通の安全性を守っていくことを目的として策定しています。

また、新技術等の活用検討や集約撤去の検討を行うことにより、維持管理に係る費用縮減を目指します。



東吾妻町が管理する架設後50年を経過する橋梁の割合

■目的

道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な維持管理対応から計画的かつ効率的な予防保全的な維持管理への対応に転換を図り、**橋梁自体の長寿命化によるコスト縮減を図り**ました。そこで東吾妻町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

■対象となる橋梁

東吾妻町が管理する265橋の道路橋の全てを対象とします。

■基本方針

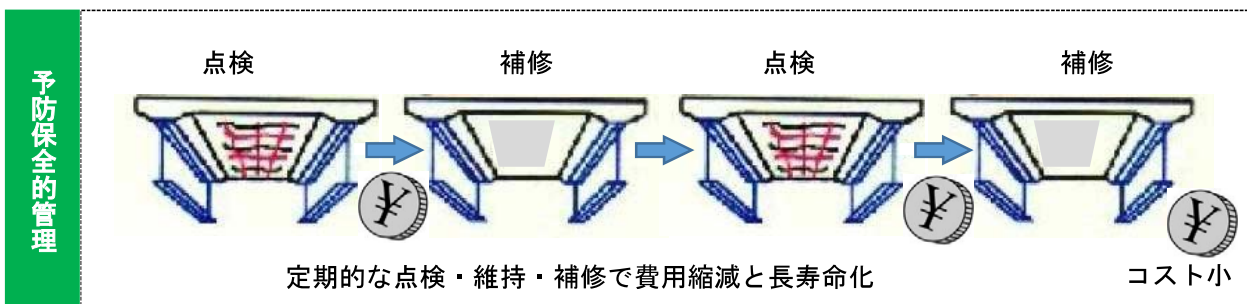
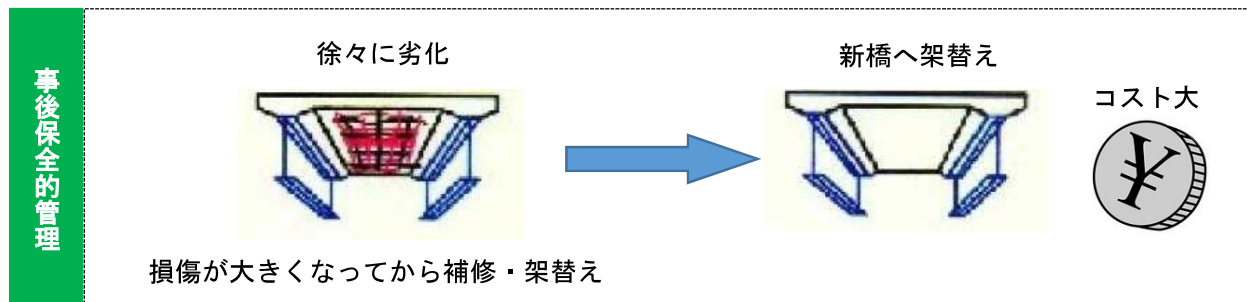
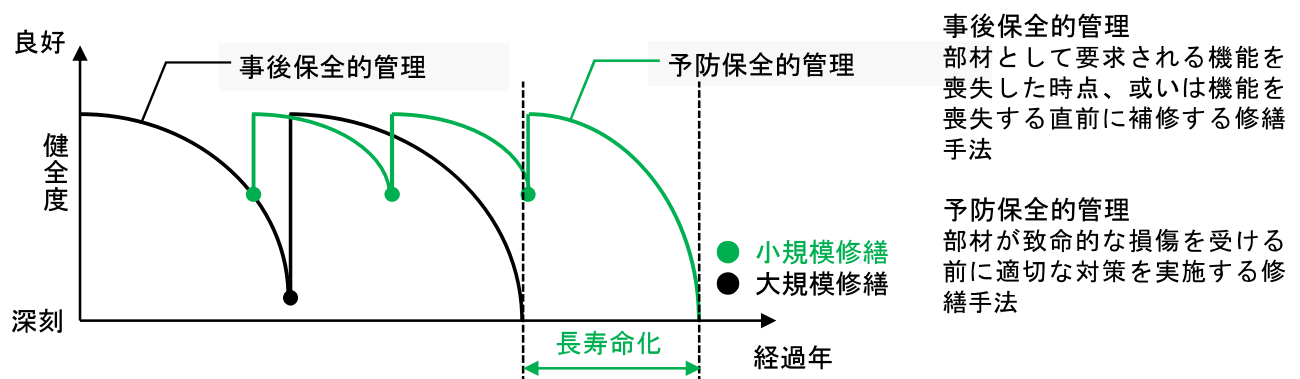
東吾妻町における橋梁管理の目標を満たすための基本方針を以下のとおり定めます。

- ① **安全で円滑な交通を確保することとします**
- ② **沿道や第三者への被害の防止を図ることとします**
- ③ **効率的な維持管理を行うための記録を得ることとします**

長寿命化修繕計画に基づく対策、点検の実施、診断及び計画の見直しというマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立し、効果的な橋梁の維持管理を継続します。



■長寿命化と費用縮減



■点検と修繕

橋梁の現況を把握するため、5年ごとに定期点検を実施しています。補修工事は優先順位を考慮して順次実施しています。

優先順位は**健全性**（傷みが激しいもの）、**通学路**（学校等の経路）、**バス路線**（町指定の経路）、**迂回路**（迂回路が無く孤立してしまう）、**橋梁の規模**（橋長が長い）を用います。

■長寿命化修繕計画による効果

265 橋を予防保全的な維持管理を行うと、そのコスト削減効果は**今後 100 年間で約 199 億円の費用の節約**が可能です。

事後保全的な維持管理における累積事業費

314 億円

—

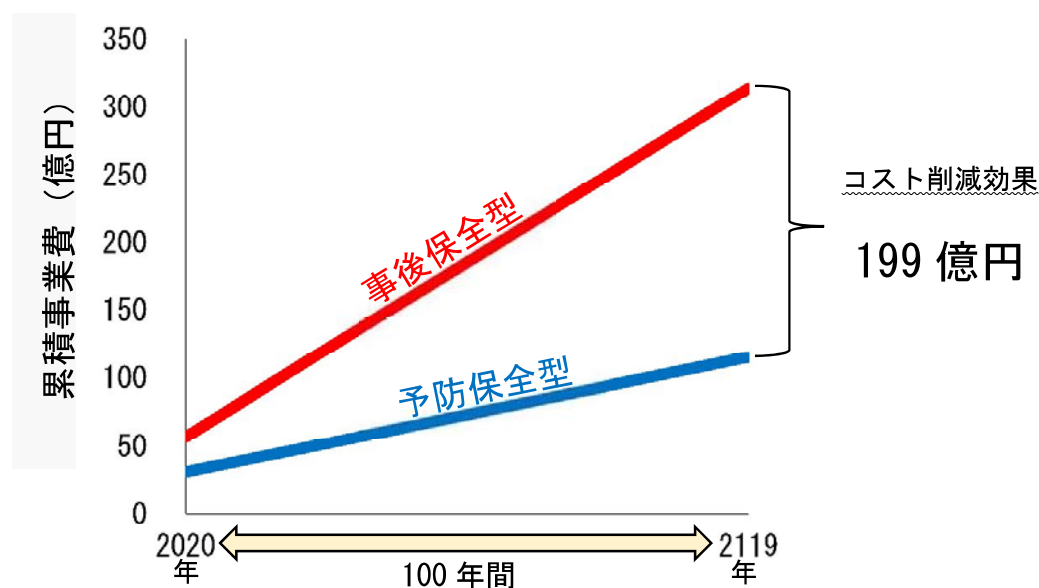
予防保全的な維持管理における累積事業費

115 億円

=

コスト削減効果

199 億円



■計画策定担当部者

東吾妻町 建設課 Tel. 0279-68-2111

本稿に示した長寿命化計画は、社会情勢や財政状況、橋梁健全性の変化を考慮し、計画の見直しを行うこととしています。